



# 議会だより

NO.199

## 第2回 町議会定例会

今月号では、4月号に引き続き、3月定例会について、町長の執行方針と平成28年度各会計予算案についての総括質疑の内容をお知らせいたします。



### 総括質疑

#### 町政執行方針について

林 幸雄 議員

#### 基幹産業である農業について

##### 問

農業予算については、長年継続している補助事業もあるかと思われませんが、どのように予算の組み立てが行われているのか、またその中で、平成28年度において力を入れている点について伺います。

##### 答

農業予算の編成にあたりましては、基本的にはまず、農協と協議して編成しているのが実態でございます。特に、どの点に力点をおいて政策予算を組みなさいというような指示はしておりません。  
しかし、長年に渡り継続実施している補助事業につきましては、逐次、担当レベルで取捨選択をしておりますことを付け加え

させていただきます。

また、今年は特に牧場の草地整備等を、道営事業の負担金で本格的に行ってまいります。また、TPP関連の畜産クラスター事業につきましても、国で予算化されましたので、確定ではありませんが、予算獲得に向け力を入れていきたいと考えております。

##### 再問

小清水町の基幹産業がより一層米えるために、予算については事業経過を精査し、使いやすい補助制度を検討いただきたいと思います。ですが、所見を伺います。

##### 答

今後の農業予算において、私は基本的に前年踏襲の考え方は持っておりません。やはり町民の皆さんの税金でありますから、全町的な視野の中で取り組んでまいります。

また、ご指摘のとおり、農業者が使いやすい補助制度にすべきと、私も考えておりますので、そういった考えの下で検討してまいります。と思っております。

高橋 隆文 議員

#### TPP発効における本町への影響について

##### 問

TPPにつきましては、関係国との交渉が大筋合意に至り、道のTPP協定対策本部会議の中では、農畜産物に与える生産減少額として、337億円から478億円と、本町にも大変大きな影響があるものと懸念されますが、どの程度影響を受けると試算されているか伺います。

##### 答

北海道の試算に基づいた本町の影響額については、実はこの試算が非常に不透明で、試算がしづらく、現在のところ本町の影響額は試算しておりません。

農業者団体でも、オホーツク管内でも、非常に試算がしづらく、ということ、それぞれの町の減少推定額は試算されていないと聞いております。

北海道の試算はあくまでも、国の試算に基づいて計算されており、これが当たっているかどうか分かりませんが、北海道の減少率で申